



はじめに

はじめまして。

私たちは、今回、滋賀県から依頼を受け、「滋賀県での在宅医療の始め方～学生の突撃インタビュー～」を作成いたしました。作成にあたったのは、滋賀医科大学の学生課外活動団体、国際保健・地域医療研究会 TukTukのメンバーです。

このパンフレットの製作目的は、読んでいただいた先生方に、在宅医療に対する関心を高めてもらい、滋賀県の地域医療や在宅看取りを活性化させていくことでした。

しかし、私たちは医学科、看護学科の学生にすぎず、在宅医療に関心はあるものの、まだまだたくさんのお話を学んでいかねばならない立場にあります。

そこで、滋賀県における在宅医療についての実状を私たちが学び、そこで知ったことをありのままに報告することが私たちの役目であると捉えることにしました。

パンフレット作成のため、私たちは滋賀県内で在宅医療を展開される多くの先生方や、在宅に関わる多職種の方々取材させていただきました。

取材の中では、「在宅医療をやっていると、地域に縛りつけられてしまって、ワークライフバランスが保てなくなるのではないか」といった、在宅医療に対する疑問点や不安についても、率直に質問させていただきました。

そして、どの先生方も、そうした私たちの質問を受け止め答えてくださいました。

本パンフレットは、私たちが在宅医療に対して抱いた疑問や不安に対する諸先生方の回答や対処方法を、整理したものです。

私は、この企画のリーダーを務めさせていただきました。まだプロフェッショナルではない、学生ならではの感覚や視点を大切に、本パンフレットの作成に取り組みました。

滋賀で医療を学ぶ学生の一人として、このパンフレットが、お読みいただいた皆様のお役に立てること、さらには滋賀県の医療に少しでも貢献することができれば幸いです。

滋賀医科大学 医学科 2年
国際保健・地域医療研究会 TukTuk部員 編集リーダー

高石亮太

Contents

1.

在宅医療を始める

在宅へ踏み出す！はじめの一步。	2
インタビュー1 在宅医療を始めたきっかけは何ですか？	3
在宅への不安解消に向けて。	4
インタビュー2 開業時に大変だったことは何ですか？	5
インタビュー3 専門外の診療はどうしますか？	6
学生の感想	
初めての在宅医療	7

2.

よりよい在宅医療をつくる

在宅と、患者さんと。	8
インタビュー4 印象的なエピソードは何ですか？	9
多職種との連携	10, 11
在宅医療を支えるチーム。	12
インタビュー5 多職種と連携することで助かったことは何ですか？	13
多職種 本音トーク	
介護支援専門員（ケアマネジャー）編・地域連携室編	14
訪問看護師編	15
保健師編	16
歯科医師編・薬剤師編	17
困難を乗り越えるために。	18
インタビュー6 困ったときの相談先はどこですか？	19
インタビュー7 在宅医療を行うにあたって障害となったことは何ですか？	20
インタビュー8 病院の地域連携室は何をしていますか？	21
患者さんが急変したとき。	22
インタビュー9 訪問頻度と夜間対応	23
看取りに向けて。	24
インタビュー10 在宅で看取る	25
インタビュー11 これから在宅医療を始める医師へのメッセージ	26

学生の感想

編入生、在宅医療に出会う。	27
---------------	----

3.

在宅医療のこれから

在宅でつなぐ滋賀の未来。	28
インタビュー12 こうなっていきたい！在宅医療の未来	29
学生の感想	
オキシトシンと地域医療	30
あとがき・謝辞	31
私たち滋賀医大生の将来の夢	32, 33